

## 2024年度事業計画 (2024年4月1日 ~ 2025年3月31日)

### 1. 事業計画の概要

昨今の自然共生における国際的な動きとして、2021年のG7サミットにて決定した「30by30」や、2022年のCOP15「昆明・モンリオール生物多様性枠組み」があります。ご存じの通りこれは生物多様性の損失を止め、人と自然が共生していくための行動をおこすことを目的としており、グローバルで生態系の回復、保全を実現していくことが重要となります。

当財団はこの流れを受け、今後も生物多様性への脅威を減らす行動、多様性を高める行動、さらにはそれらの啓発する活動にも積極的に助成していきたいと考えております。具体的には、森づくりや森の生物多様性を評価するための調査、カーボンニュートラルに寄与する森の調査、自然の回復を試みる整備や活動、外来生物の駆除活動や子どもへの環境啓発などです。

上記を踏まえ、2024年度も下表のとおり助成事業は昨年と同じ助成金総額600万円、採用件数4件程度を計画いたします。

なお2022年度助成事業(2023年度の活動)の成果については、2024年5月10日までに成果報告書を受領し、8月に成果報告会を予定しております。(※資料 2024年度年間スケジュールを参照)

### 2. 助成事業計画

助成分野	内容	助成対象者	助成対象テーマ	1件当たり (千円)	件・人数	金額 (千円)
自然共生に 関する事業	・森づくりや自然環境創出に関わる活動 ・植樹地の調査や自然環境保護に関わる調査研究 ・環境教育や自然共生に関わる啓発活動	地方公共 団体、NPO 法人などの 団体、任意 団体、大 学、研究機 関、公的機 関など	地球環境の保 全、自然環境の 保護、整備に寄 与すること	最高額 1,500	4件程度	6,000
合計						6,000

(注) 助成金の使途毎の金額および助成件数・人数は、応募状況や選考結果により変わる場合があります。